

スヘ

くつもの川が

があります。
なる雨を直接

100mm、そして



リバーバル五ヶ瀬川(河川学習館)



国土交通省 九州地方整備局
延岡河川国道事務所
〒882-0803 延岡市大貫町1丁目 2889
TEL. 0982-31-1155 FAX. 0982-33-6907
<http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>



いろいろな雨を体験しよう

降雨体験室 どしゃぶりハウス

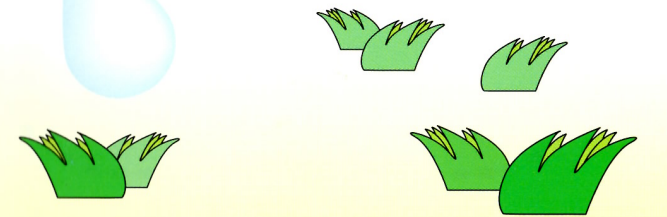


ようこそ、 どしゃぶりハウス

私たちの住んでいるところは、豊かな自然に囲まれ、い
流れています。
しかし、この川が私たちにいろいろな災害をもたらすこと
「どしゃぶりハウス」では、その災害をおこすはじまりと
体験できます。
体験できる降雨量は、1時間雨量で20mm、50mm、70mm、
日本最大級となる190mmの5種類です。
さあ、傘をさして中へ入って体験してみよう。



どしゃぶりハウス



1 1時間雨量 20mm やや強い雨

この雨は、地面一面に水たまりができ、家の中では話し声がよく聞きとれません。排水溝や小川があふれ、小さながけ崩れがはじまります。

2 1時間雨量 50mm 激しい雨

バケツをひっくり返したように降り、家の中で寝ている人の半数くらいが雨に気づきます。道路が川のようになり、山崩れ、がけ崩れがおきやすく、危険地帯では避難の準備が必要です。



3 1時間雨量 70mm 非常に激しい雨

水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなります。都市では、地下室や地下街に雨水が流れ込む場合があり、マンホールからは水がふき出します。土石流がおこりやすくなり、多くの災害が発生します。



4 1時間雨量 100mm 猛烈な雨

傘をさしていても全く役に立たなくなり、びしょぬれになります。雨による大きな災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。



5 1時間雨量 190mm 日本観測史上最大級の雨

昭和57年7月長崎市を中心に発生した災害では、1時間雨量187mmという日本観測史上最大の雨が降り、長崎豪雨と呼ばれています。ここではその時の雨に近い状態が体験できます。

どしゃぶりハウスの特徴

- 装置名：降雨体験装置
- 重さ：900kg
- 高さ：2m65cm(屋根がない時)
4m35cm(屋根がある時)
- 内容：1時間雨量が20mm、50mm、70mm、100mm、190mmの5種類の強さの雨を体験できる装置



降雨量と1時間雨量ってなに？

降雨量とは、雨が地面にしみこんだりまわりに流れたりしないで、そのまま平らな地面にたまったらどれくらいの深さになるか測ったもので単位はmm(ミリメートル)であらわします。
1時間雨量とは、その強さの雨が1時間降り続いたらどれくらいの量になるのか、雨の強さを表すために使われます。